

全署の調査権限を有す 任意調査の最高峰

唐沢 晴乃介 国税局 | 2009年採用
Karasawa Harunosuke 課税第二部 資料調査課

福岡合同庁舎
Fukuoka National Government Building



Question 1 現在の仕事内容について教えてください

私は現在、国税局の課税第二部資料調査課に所属しています。資料調査課は、任意調査の最高峰と言われており、福岡国税局管内において、複雑困難かつ大口・悪質な不正が見込まれる法人を対象に調査を行っています。

資料調査課はマルサ（査察）のような強制調査ではなく納税者の同意の下、任意で調査を行いますが、悪質な納税者に屈することなく、資料調査課の職員が一体となって厳正な調査を行い「内国税の適正かつ公平な賦課及び徴収の実現」を日々目指しています。



Question 2 仕事のやりがいや達成感を教えてください

管内全署の調査権限を有し、任意調査の最高峰と言われる資料調査課は悪質な納税者から恐れられる部署であるとともに、職員の憧れの部署でもあるため、資料調査課で仕事ができることにとてもやりがいを感じます。一方で、税法はもとより、各種法律、経済情勢、業種・業態の情報など幅広い知識、更に説得力などのスキルが求められるため、プレッシャーも感じています。

また、調査の現場においては常に緊張感が伴い、肉体的にも精神的にも強靭さが必要となりますが、法人税調査のプロフェッショナルとして、悪質な不正行為を行う納税者に対し、適正・公平な課税を実現できたときには大きな達成感があります。

Question 3 休日はどのように過ごしていますか

休日はほとんど家族と過ごしています。家族で買い物に出かけたり、子供と近所の公園に虫捕りに出かけたりしています。平日は出張で家を空けることが多いため、休日は積極的に息子と過ごす時間を作るようにしています。

また、職場の同期と旅行やバーベキューをしたり、子供が生まれてから頻度は減りましたが、職場の上司や先輩と釣りに行ったりもします。

休日は仕事のことを忘れ、心身ともにリフレッシュすることで仕事に対するモチベーションを上げています。



メッセージ

Message



「税のスペシャリスト」である国税専門官は、とても専門性の高い職業です。そのため、税法をはじめ幅広い知識が求められ、常に自己研さんが欠かせません。不安を感じる部分もあるかもしれませんが、研修制度も充実しており、上司や先輩方も丁寧に指導して下さるため心配はありませんし、仕事を通じて日々成長することができます。

国税の仕事は国の財政を支える重要な役割を担っており、決して楽な仕事とは言えませんが、仕事をやり遂げたときの達成感、満足感は格別で、とてもやりがいのある仕事だと思います。

皆さんも「税のスペシャリスト」である国税専門官を目指してみませんか。